



リスクマネージャー!

医療の安全に取り組む全国のリスクマネージャー様にインタビュー

No.96 医療法人社団明芳会イムス板橋リハビリテーション病院 リスクマネージャー 舟久保さち子様
 師長 安齋千佳様



【イムス板橋リハビリテーション病院(東京都板橋区)】



【(左)舟久保さち子様 / (右)安齋千佳様】

■ 病院の概要 (抜粋)

- 平成 21 年 6 月 3 階、4 階病棟 100 床オープン
 - 平成 21 年 7 月 糖尿病医師による入院サポート開始
 - 平成 21 年 7 月 心臓リハビリテーション外来開始
 - 平成 21 年 8 月 心療内科医師による入院サポート開始
 - 平成 21 年 9 月 5 階病棟オープン 病床数 150 床
 - 平成 22 年 1 月 泌尿器科医師による入院サポート開始
 - 平成 22 年 4 月 整形外科医師による入院サポート開始 / 皮膚科医師による入院サポート開始
 摂食機能療法科医師による入院サポート開始
 - 平成 22 年 5 月 高次脳機能障害外来 開始
 - 平成 23 年 8 月 訪問リハビリテーション事業所 開設
 - 平成 25 年 8 月 骨粗しょう症外来 開始
 - 平成 26 年 7 月 居宅介護支援事業所 開設
 - 平成 27 年 4 月 心臓リハビリテーション科 標榜
- 【病床数 150 床】

■ 基本理念

- ・ 事故のない医療
- ・ 説明と同意の医療
- ・ 快適で清潔な医療
- ・ 地域に根ざした医療

■ 基本方針

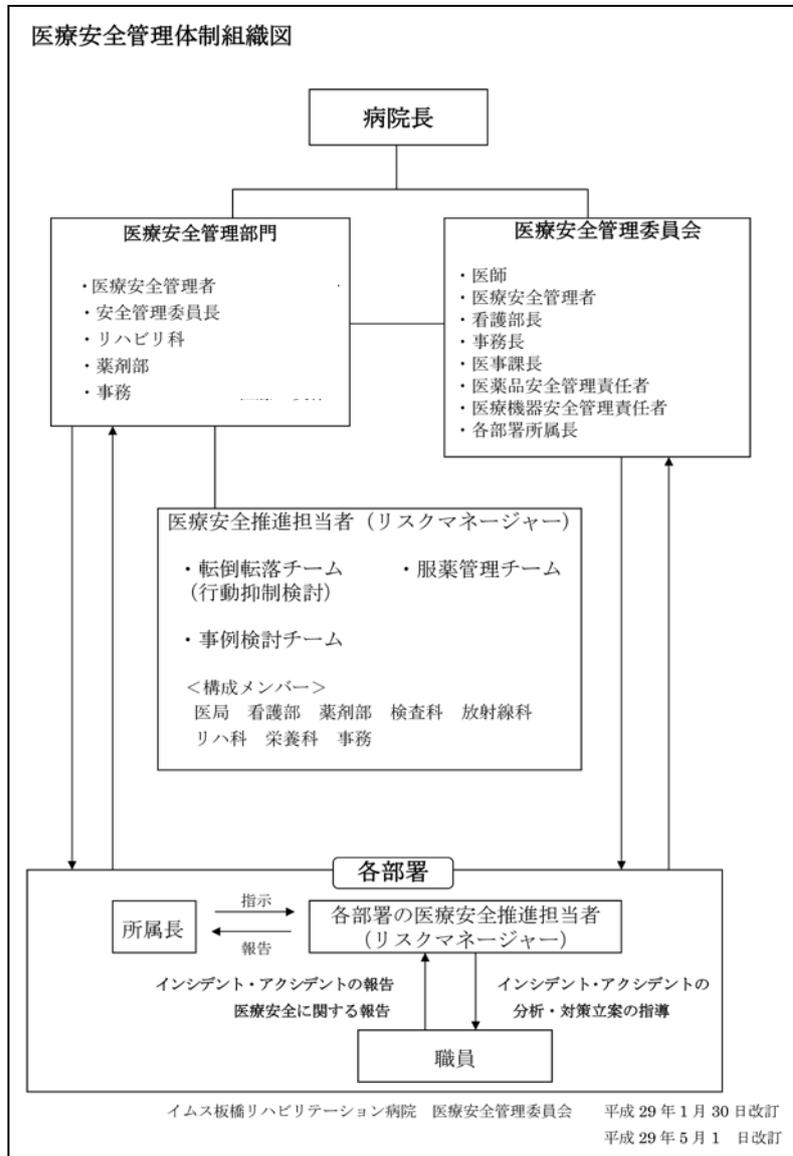
- 1) 自分ではなく相手が何を望んでいるか常に考える。
- 2) 全医療スタッフ協調の下、患者様とご家族様の願いを出来るだけ叶えるように努める。
- 3) 広い生活圏での日常生活自立度 (IADL) を視野に入れたリハビリ病院であるため変化を求め、チャレンジ精神を忘れない。
- 4) 医学の不確実性と限界を謙虚に受け入れて惜みないリハビリを提供する
- 5) 患者様に突然生じた受け入れがたい環境変化、身体精神的もどかしさをどこまで理解させていただけるか、院内研修を行い自己研鑽に努める。

1. 組織体制について

医療安全に関する組織体制について貴院の特色を含めて教えてください。

病院長直下に医療安全部門が組織されており、各部署の所属長やリスクマネージャーと連携を図り、医療安全管理委員会や小委員会などを通して院内の安全を高めるように努めています。

各部署の所属長とは別に医療安全推進担当者をリスクマネージャーとして、3つの医療安全チームを形成していることが特徴です。



主な業務内容を、院内各部署との連携を含めて教えてください。

インシデント・アクシデント報告書を確認し、必要に応じて情報収集・分析・対策立案・フィードバックを行います。

各チームに分かれて、第 1 週は転倒・転落チーム、第 2 週は事例検討チームなどチームを変えながら様々な視点でラウンドを行っており、私は全てのチームに帯同することになっています。

また、毎朝 8:30 から各病棟のスタッフが全員集まり、前日の事例報告から使用する福祉用具に至るまでカンファレンスで検討しています。

2. 転倒・転落事例情報の収集と対策について

近年の事例発生件数の推移と原因について教えてください。

職員が減少すると事故発生率が増加することが分かっていますので、事故を減少させるために対策用具を意識的に多く取り入れるようにしています。また、スタッフ同士のコミュニケーションを増やして事故の減少に努めています。

貴院の対策や特徴的な取り組みがあれば教えてください。

年2回、院内広報誌「THE 医療安全」を発行しています。内容は各部署の事故事例の分析や注意喚起、また部門ごとで気になっている点などを集約してスタッフとの情報共有の場になっています。年2回の発行ですが、そこに至るまでの各スタッフとの情報交流こそが医療安全で重要なコミュニケーションになっていると思っています。



3. 医療安全に関する研修および他院との連携について

医療安全に関連した研修の年間実施計画や内容について教えてください。

医療安全研修は、制度で決まっている年2回のプログラムを開催します。今は1回目の時期ですが、テクノスジャパンから借りた資料をもとに「転倒・転落対策」をテーマに開催しています。2回目のプログラムは「KYT」「院内アクシデント検証」など、院内の状況をみてタイムリーなテーマを選んで開催する予定にしています。

地域病院と医療安全に関する連携があれば内容を教えてください。

月1回イムスグループの本部に関東圏の系列病院が集合し、各病院から事例を持ち寄って、急性期・回復期・慢性期で分類し各5～6名のチームになって内容の検証を行っています。以前はアセスメントスコアシートの変更を研修会で検討していた時期もありました。このようにグループ内で研修会と情報交流を常に行っています。

